

ちほみのり速報

No.3

『早生』多収米の確立を目指して!!

昨年の6月とは違い、空梅雨の天候が日々続いています。昨年は早々に梅雨明けしましたが、本年度は、これから梅雨入り本番です。今後は、いもち病や紋枯病の予防・防除対策や、間断通水の実施がメインとなります。ちほみのりは、現在最高分けつ期くらいです。また、今週に入り幼穂が1mm確認され幼穂形成期にはいりました。「今後は、適切な水管理に努め、稲体にストレスのない管理に心がけてください。」

1. JA生育調査状況（6月19日現在）

栽培区分	平均作業日	草丈cm	茎数本/㎡	葉令	葉色	幼穂mm
移植	-	49.3	584.8	-	4.2	1.0

■ 生育は、茎数が増加しました。草丈はやや短く、葉色は平年並みに落ち着いてきました。

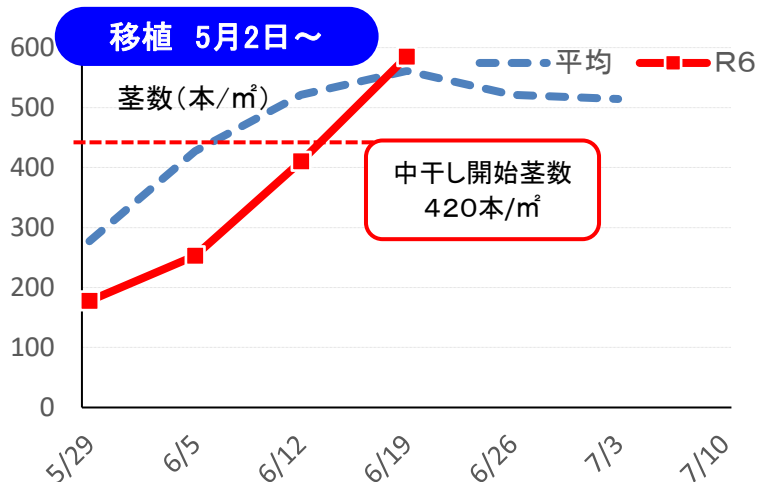
【平年比】

- 草丈 : やや短い
- 茎数 : 並み
- 葉色 : 並み

【生育状況】

中干し開始の目安の茎数を上回りました。茎数の増加が著しいです。今週に入り幼穂が確認されました。

2. 茎数の推移と今後の管理



3. ちほみのり栽培管理のポイント！

① 中干し終了後の水管理

幼穂が確認できたら、浅水の通水を実施し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

間断通水で多収穫!!
中干し終了後の水管理

- 入水: 水位: 3程度

自然落水

- この水管理の繰り返し。

- 足跡や溝に水が残っている状態で再び入水。

② 県下一斉 畦畔草刈り実践デー

地域ぐるみの草刈りでカメムシの発生や帰化アサガオ類を減らしましょう。

- 6月22日(土) 23日(日)
- 7月 6日(土) 7日(日)

